

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	・グループホームの役割や求められるもの	・グループホームの役割や求められる事を理解し日々の支援に生かしていく。	・利用者の望む暮らし、思いを理解しグループホームとしてできる事をカンファレンスし検討していく。 ・利用者様の役割、生活の楽しみを見出していく。	12ヶ月
2	23 ～ 26	・認知症の種類や症状の違い	・認知症の症状に適したケアができる。 ・職員全員が紐解きシート、24時間シート、軒下マップの記入ができるようになる。	・認知症の種類や症状について職員会議やカンファレンスを通して学ぶ。 ・センター方式の必要性和活用機会を増やし利用者様との関りを深める。	12ヶ月
3	38 ～ 39	・災害時の利用者の安全確保	・災害に対して、安全に避難できるように、避難方法や避難先の課題も含め安全に避難できる体制を整える。	・業務継続計画の全職員への周知及び訓練 ・避難個所の確認。(移動手段、距離、時間、バリアなど) ・緊急時の備蓄に対して、検討し、物流が止まった場合に対応できる備蓄を整備する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。